

# おくすりの副作用

薬を使用後、病気への作用とは別の作用により、からだに変化があらわれることがあります。これが副作用です。



どのような薬にも副作用があります。しかし、すべての方に副作用が発現するわけではなく、一部の方にその症状があらわれます。副作用は早くみつけて防ぐことが大切です。

副作用について、すべての不安を取り除くことは難しいかもしれませんが、副作用が発現したときに、慌てずに対応できるようにしましょう。

## ● 副作用とその症状について、薬を使用する前に確認しましょう

副作用には、薬の使用を継続し、様子を見ていくものと、薬の使用を中止するものがあります。いずれの副作用についても、事前にどのような症状を発現する可能性があるかを確認することで慌てずに対応することができます。



## ● 気になる症状が出たら、すぐに医師または薬剤師に連絡しましょう。

事前に聞いた症状が出たり、薬を使っていつもと様子が違うと感じたときには、すぐに医師または薬剤師に連絡しましょう。使用を中止して受診すべきか、使用を続けて様子を見ていくかなど、対応方法をお伝えします。



## 副作用へ対応するために必要な情報

- 薬を使った日時
- 副作用に気づいた日時
- 薬の名前と使った量
- 症状

## ● 同じ副作用をくり返さないために・・・

一度でも副作用が発現した薬があるときは、そのときの状況を医師・薬剤師に伝えましょう。薬の名前などを忘れないようにおくすり手帳に書いておくことをおすすめします。

MEMO

## 薬の名前が違っても同じ成分が入っている薬がある！？

薬の名前が異なっても同じ成分や似た成分が薬に含まれていることがあり、その薬を使ったときには副作用を発現する可能性があります。このようなことを回避するためにも、医師・薬剤師への連絡は大切です。

